

# 全校掲示物『心の虹』

令和元年度から全校で「心の虹」の掲示物を作成する取組を行った。1学期に一度、「ありがとう週間」を設け、その期間で見つけた友達や家族などへの感謝の思いを学年カラーの「ありがとうカード」に記した。そのカードを学年順に掲示することで、1階の南校舎と北校舎をつなぐ廊下に大きな虹がかかった。

1年生から6年生までの全校児童のメッセージは、学年による内容の違いはあれど、どれも素直な感謝の言葉がつつられていて、読んでいて心が温まる。特に今年度は、休校中にそばで支えてくれた家族への感謝、医療従事者や生活を支えて下さっている方への感謝の思いをつづる児童が多くいた。また、休校を経て久しぶりの学校生活を過ごし、安全に連れて来てくれている通学班の班長や、学校のリーダーとして活躍する6年生への感謝などに改めて気づくことができた児童も多かった。



お昼の放送では、この「心の虹」の中から各学年の素敵なメッセージを選び、全校に紹介する企画を行った。放送委員の児童が各学年の教諭から受け取った原稿を読む運びとなっている。聞き手が注目できるように、シングルも作成した。

今年は給食中に友達と話をすることはできなかったが、静かに放送を聞く時間を取ることができた。そのため、同じ学校で生活する友達の感謝の思いに子供たちも静かに耳を傾けて聞き入り、優しい気持ちや感謝の気持ちがじんわりと広がっていったことが感じられた。

「心の虹」のコーナーです。心温まるメッセージの紹介をします！

